

CASBEE 京都-新築

標準システム

■使用評価マニュアル：CASBEE-京都-建築(新築)2018年版 | 使用評価ソフト：CASBEE京都-新築2018 (v.1.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)大阪材木町ホテル計画	階数	地上5F、地下1階
建設地	京都市中京区堺町通姉小路下る大阪材木町700番、696番1	構造	RC造
用途地域	職住共存特別用途地区、準防火地域	平均居住人員	100 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	ホテル	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2020年3月 予定	評価の実施日	2019年3月15日
敷地面積	730.68 m ²	作成者	松本拓也
建築面積	453.15 m ²	確認日	2019年3月16日
延床面積	2,423.52 m ²	確認者	定森淳一



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.8 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.5

Q1 室内環境

Q1のスコア= 2.9

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 2.6

Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア= 2.1

LR のスコア = 3.2

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 3.8

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 2.5

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.1

3 設計上の配慮事項		
総合	その他	
・景観への配慮、省エネルギーシステムの向上に努めている。		
Q1 室内環境 ・屋光率、換気性能への配慮。	Q2 サービス性能 ・広さ感、建材の防汚性への配慮。	Q3 室外環境 (敷地内) ・景観条令に配慮されている。
LR1 エネルギー ・省エネルギーシステムの高効率化に努めている。	LR2 資源・マテリアル ・防水工事のプライマー等、化学物質の使用削減に努めている。	LR3 敷地外環境 ・LCCO ₂ 排出率を80%に削減する等、地球温暖化防止に努めている。 ・チェックリストの過半を満たす、広告物照明無し等、光害の抑制に努めている。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される